

週間漁海況情報 2019年第33号

令和元年8月27日発行

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

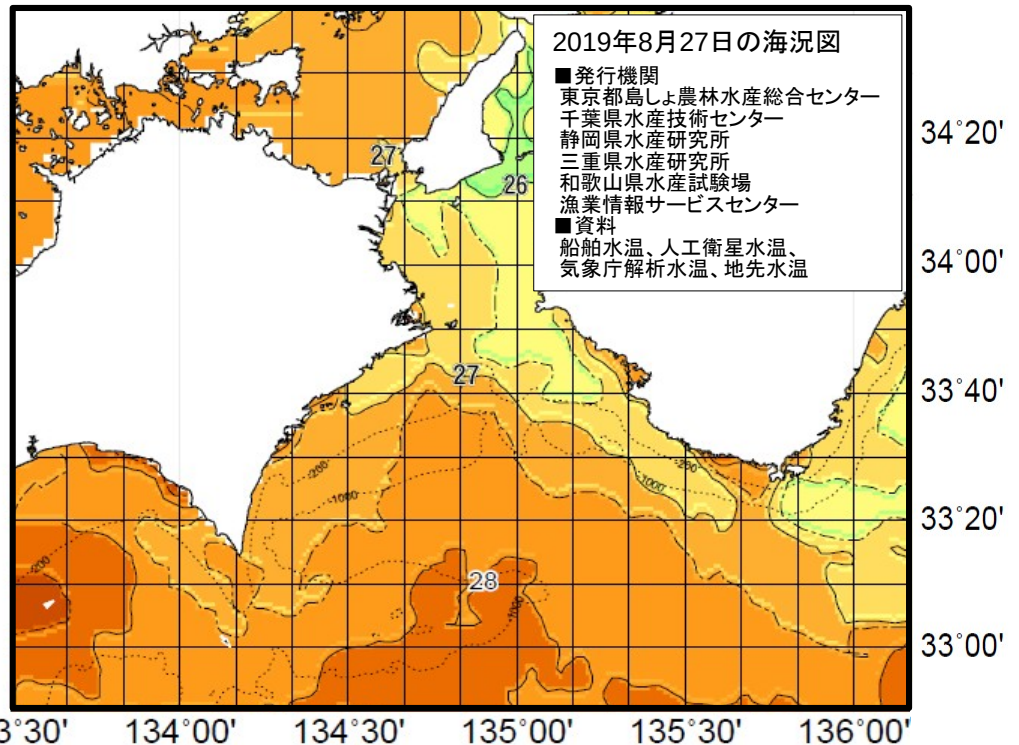
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、16日以降、大蛇行の始点が潮岬南東にある状態で、19日から21日にかけて室戸岬沖、潮岬沖とも「やや離岸」となっていたが、室戸岬沖では22日頃、潮岬沖では26日頃に「離岸」に移行している。

27日現在の徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で26℃～27℃台、紀伊水道でおおむね26℃台、海部沿岸でおおむね26℃～27℃台となっており、蒲生田岬周辺や海部下灘の一部海域で周囲より高くなっているところがある模様。

黒潮の表面水温は28℃台。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 25~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

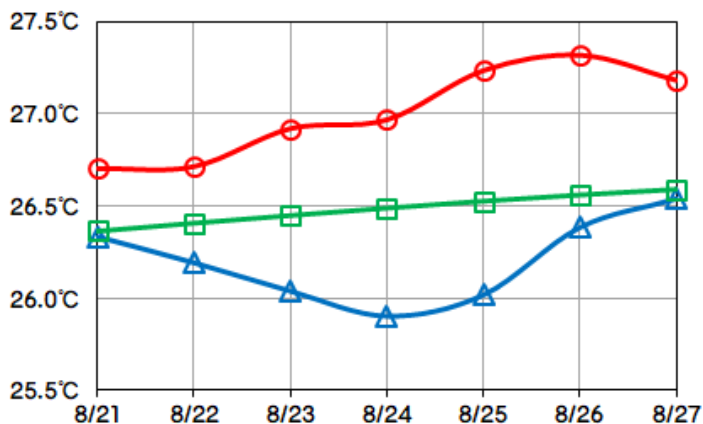
2. 地先水温(8月21日~8月27日)

一年で最も水温が高い時期となっている。

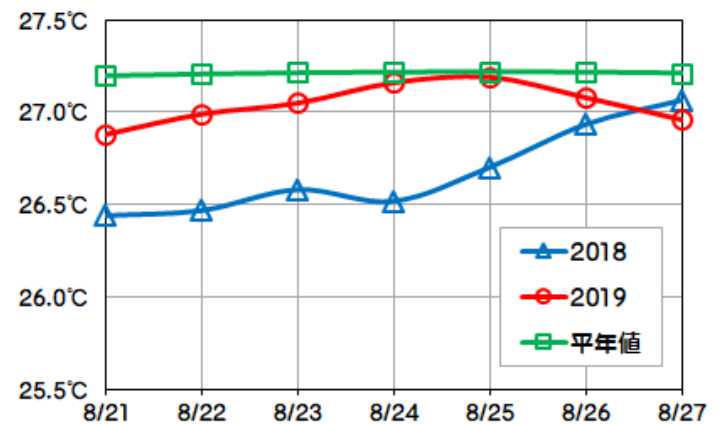
鳴門地区の水温は、26.7℃~27.3℃で、25日以降27℃を超え「やや高め」となっている。

日和佐地区の水温は、「平年並み」の26.9℃~27.2℃で、ほぼ横ばいで推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(8月28日~9月3日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」のち「平年並み」、日和佐地区は引き続き「平年並み」で推移する見込み。

盆明けの操業が本格化し、各地でまとまった水揚げがみられた。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが68.8ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが大きく増えて大主体に0.7ト、タチウオが大きく増えて0.5ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて5.4ト、タチウオが大きく増えて2.0ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてつばす級主体に1.4ト、カンパチが増えて1.0ト、ハマフエフキが大主体に0.6ト、マアジが大きく増えて小小主体に0.6ト、マダイが減って0.4ト、ヘダイが減って0.4ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて11.1ト、タチウオが0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが大きく増えて1.6ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく増えて小小主体に0.7ト、カンパチが大きく増えて0.7ト、マルソウダが大きく増えて0.3ト、マアジが大きく増えて小小主体に0.3ト、ヒラソウダが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.2ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	68,750	688		↗↗
	釣り	33	イサキ	678	21	大主体	↗↗
		23	タチウオ	457	20		↗↗
	延縄	49	ハモ	5,422	111		↗
		63	タチウオ	1,954	31		↗↗
	小型定置網	16	ブリ	1,399	87	つばす級主体	↗↗
		26	カンパチ	952	37		↗
		20	ハマフエフキ	617	31	大主体	→
		22	マアジ	615	28	小小主体	↗↗
		22	マダイ	397	18		↘
		20	ヘダイ	360	18		↘
		底びき網	36	ハモ	11,111	309	
	28		タチウオ	306	11		→
海部沿岸	釣り	22	タチウオ	1,568	71		↗↗
	延縄	23	アカムツ	306	13		↗
	小型定置網	10	かます類	743	74	小小主体	↗↗
		36	カンパチ	670	19		↗↗
		17	マルソウダ	305	18		↗↗
		19	マアジ	270	14	小小主体	↗↗
		14	ヒラソウダ	242	17		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘